

麻しん予防のためMRワクチンを接種しよう！

(平成 26 年 6 月 5 日作成)

麻しん患者増加

全国の麻しん患者届出数について、平成 26 年に入って 340 人（速報値）を超えており、昨年 1 年間の届出数 232 人を既に上回っています。

全国の患者報告の約 8 割が、予防接種歴がないか又は不明であると報告されており、特に I 期の定期予防接種を開始する前の 0 歳児及び予防接種歴のない 1 歳児に多いです。

兵庫県では、平成 26 年に入って第 5 週から急増し、第 22 週（5 月 26 日～6 月 1 日）時点で 10 人（速報値）となっており、昨年の届出数 7 人を上回りました。

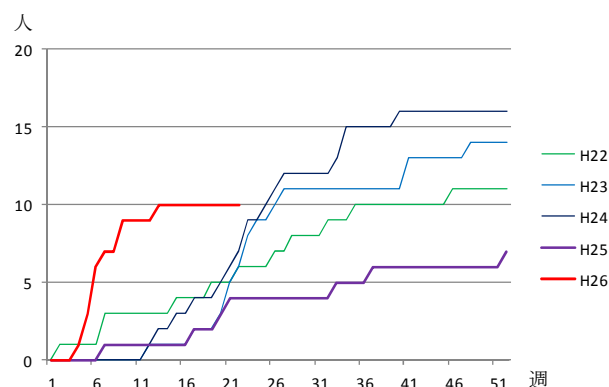


図 兵庫県における麻しんの累積患者数（速報値）

麻しんについて

- ・病原体：麻しんウイルス
- ・感染経路：主な感染経路は、空気感染です。
- ・潜伏期間：10～12 日、発疹出現までは約 14 日
- ・症 状

麻しんは、はしかともいわれる急性の全身感染症で、**感染力が非常に強く**、免疫をもっていない人が感染するとほぼ 100%発症するといわれています。

発熱や咳、鼻水といった風邪のような初期症状に続いて、39℃以上の高熱とともに特有の発疹が耳後部、頸部、前額部から全身へ広がって行きます。

注意したいのは、肺炎、中耳炎、脳炎などの合併症で、先進国であっても 1000 人に 1 人が死亡するといわれています。

治療は対症療法が中心となりますが、重症化防止のため早期受診が重要です。

予防のポイント

麻しんは感染力が強く、空気感染もするので、手洗い、マスクのみでは予防できません。発症しても対症療法が中心となるので、麻しんワクチン接種が最も有効な予防法です。

- (1) 1 歳のお誕生日のプレゼントに MR ワクチンを接種しましょう。
- (2) 小学校入学準備とともに 2 回目の MR ワクチンを忘れずに接種しましょう。
- (3) 海外の麻しん流行地域へ渡航される方で、麻しんの罹患歴や接種歴が明らかでない場合は、早めにかかりつけ医に相談し予防接種についてご検討ください。

<麻しんと診断されたら、当所健康管理課へご連絡ください。>

(参考)

厚生労働省「麻しん（はしか）に関する Q&A」

<http://www.mhlw.go.jp/qa/kenkou/hashika/>

国立感染症研究所ホームページ「麻しんの発生動向」

<http://www.nih.go.jp/niid/ja/diseases/ma/measles.html>

